



静小だより

みがきかがやく静小の子ども



「学校」「家庭」「地域」すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

3学期を迎えるにあたって ～結びつける力～ 校長 小泉卓真

新しい年を迎え、心よりお慶び申し上げます。本日より3学期がスタートしました。3学期は、1年間の学習の総まとめの時期にもなってきます。学年に応じた学習内容をしっかりと身に付けられるように取り組んでほしいと願っています。



さて、平成32年度から新学習指導要領が本格実施となります。現在はそれまでの移行期間ということではありますが、すでに準じた取組を進めています。新学習指導要領では、子どもたちに育成すべき資質・能力を明確にし、その定着を図っていくこととなります。これまでと大きく変わる点は、各教科で身に付けた力を他の場面でも活用することで資質・能力をより確かなものにしていきながら、子どもたちの主体的で対話的な学び合いを深めるということです。そのため、授業や教育課程の考え方が変わります。

学校教育は、教科などを中心に学びます。それにより子どもたちは、頭の中に〔算数の引き出し〕や〔国語の引き出し〕を作ります。国語の時間になるとその引き出しを開け、次の授業では、また別の引き出しを開けることとなります。しかし、国語の学習で活用する〔読解力〕は国語のものだけではなく、算数や他の教科にも必要となります。算数で身に付けた資料を表やグラフにして整理する力は、社会での資料の読み取りや理科のデータ分析にも使われます。一つの問題に対し、一つの引き出しを開けるのではなく、関連する引き出しを結びつけて開けていくと、理解しやすく資質・能力も向上していきます。

また、人は問題に直面したとき、これまでの経験や知識と照合し、似たものはないかと探しながら解決策を考えます。このとき、引き出しを一つ一つ開けていては時間がかかってしまいます。もし、開ける引き出しが関連づき結びついていると一度に開けることができます。たくさんの引き出しを開けられるということは、多面的・多角的な見方や考え方ができるということです。**これから**
の社会に求められるのは、知識の量よりも、知識と知識を結びつけて新たな知を創造する力です。経験と知識を結びつける、一見関係のないようにみえるものを関連づけるなど、何かと何かを結びつけて考えていくのです。

子どもの『**結びつける力**』を育む言葉があります。それは、「何かに似てない?」「似ているものはない?」です。この言葉で、子どもたちはこれまでの経験や学習を想起し、引き出しを開け、結びつけていきます。本校では、これからも子どもたちの気付きを生む問いかけと知識と知識を結びつける授業を続けてまいります。

3学期も、学校と家庭が協力し合い、それぞれが力を尽くしながら子どもたちの成長の支えになっていきたいと思えます。今年も、どうぞよろしく願いいたします。

冬休みサポート学習「解き直しをすることができるようになって嬉しかった。」

「また来年もやってみたいと思いました。」「友達や先生たちが一生懸命教えてくれて、□を使う式が上達して嬉しかったです。」2日間の学習会を終え、最後の挨拶で代表の子どもたちが発表してくれた感想です。ほかの子どもたちの感想にも、苦手な学習内容の克服、友達との支え合いや上級生からのサポートに対する喜び等に関わる記述がされており、どの子どもも2日間しっかりと取り組んだ姿勢とそれに伴う喜びや成長がたくさん伝わってくる内容ばかりでした。

今回も学生ボランティアと教育委員会指導主事の先生方を迎えて実施した学習会。午前中は中・高学年26名の子どもたちが参加をし、算数科での低正答率問題や活用問題に取り組みました。また、学習会後半に上級生の子どもたちが下級生一人一人に寄り添い、丁寧にアドバイスをしたり、丸付けをしたりしてくれました。



【サポート学習に参加しての感想】

- 私ができないところや苦手なところができるようになりました。先生たちや5・6年生にたくさんの勉強を教えてもらったのでうれしかったです。またぜひ来年も参加したいです。(3年生児童)
- 友達といっしょに学習できて楽しかった。まちがえた時はあったけど、解き直してできたからうれしかった。いろいろな先生が来てくれてよかった。(4年生児童)
- 苦手な問題ができるようになったし、わからない問題を先生や友達に教えてもらって解き方がわかってとてもよかったです。苦手な問題を復習できてよかったです。(5年生児童)
- 今までやったことがない問題に取り組み、とても勉強になったと思いました。他の人と相談し合うことで考えが広がり楽しかったです。(6年生児童)

また、午後からは1・2年生の子どもたちと保護者を対象とした学習会を開催しました。前半に町教育委員会の片桐指導主幹より「今後求められる学力と家庭学習」「家庭学習に取り組む子への声かけや評価」等について話をいただき、その後講話内容に基づき「学習に取り組むお子さんへの声かけや評価」を保護者の皆さんに実際に体感していただきました。



「2月の行事予定」にかかわる連絡

【2月行事予定】							
日	曜	学校行事	児童会行事	スクールバス			給食
				第1便	第2便	第3便	
1	金	本馬くん家貸出日 3年授業ブロック研	放送演説（5年）		14:40	15:30	○
2	土						
3	日						
4	月	宿題・家庭学習がんばろう週間 5・6年スケート学習 センカリ来校（全日） 中学入学説明会 フッ化物洗口（1～5年）	放送演説（4年） 第2回選挙管理委員会		14:40	15:30	○
5	火	6時間授業 新入生一日入学	前期児童会役員選挙		14:40	15:30	○
6	水		選挙結果揭示		14:40	15:30	○
7	木	職員会議 図書館司書巡回	認証式（昼） 6送会原案作成（～13日）		14:15	*	○
8	金				14:40	15:30	○
9	土						
10	日						
11	月	建国記念日					
12	火	全校参観日 PTA単P研修会 巡回教師来校（全日）			14:40	*	○
13	水	5時間授業（清掃あり） 年度末反省会議			14:40	*	○
14	木	研修日 5年授業ブロック研 センカリ来校（午前）			14:15	*	○
15	金	5時間授業（清掃あり） 年度末反省会議 町P連第3回理事会			14:40	*	○
16	土						
17	日						
18	月	フッ化物洗口 センカリ来校（全日）			14:40	15:30	○
19	火	6時間授業	代表委員会（昼）		14:40	15:30	○
20	水	PT派遣事業			14:40	15:30	○
21	木	研修日 図書館司書巡回			14:15	*	○
22	金				14:40	15:30	○
23	土						
24	日						
25	月	二計測（高） フッ化物洗口			14:40	15:30	○
26	火	二計測（中）巡回教師来校（全日）	代表委員会		14:40	15:30	○
27	水	二計測（低）			14:40	15:30	○
28	木	研修日 図書館司書巡回 センカリ来校（午前）			14:15	*	○

「インフルエンザ出席停止期間」の再確認

マスコミ等でもご存知と思われますが、全道でインフルエンザが猛威をふるっており、今後本町においても流行は避けられないものと思われます。

そこで、前学期に発行された保健だより「インフルエンザ出席停止期間」を再掲載しますので、ご確認をお願いします。併せて、お子さんがインフルエンザになりましたら、学校まで必ずご連絡ください。（☎42-1561）

【保健だより掲載内容】

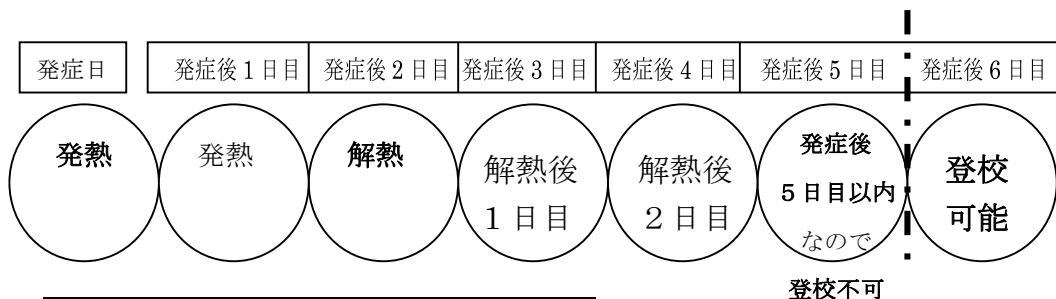
もしインフルエンザにかかった時に、自分の体をゆっくりと休めるのはもちろんのことまわりの人への感染を防ぐために学校へ来てはいけない期間（出席停止）が決められています。

最近ではインフルエンザの治療薬がどんどん研究され、かかっても熱が早く下がるため、治ってしまったかのように見えるのですが、実はまだ体の中にはしっかりとウィルスが残っており、まわりの人にうつる可能性があるため「出席停止期間」が決められています。

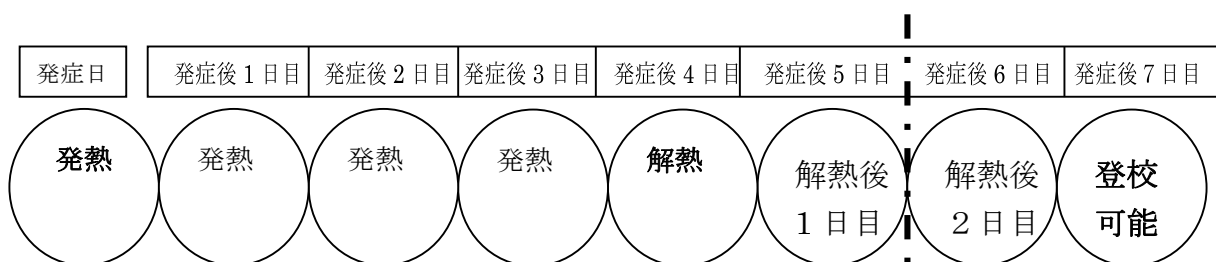
その期間は「発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで」です。

これは、熱が出て『インフルエンザ』と診断されたら、たとえすぐに熱が下がっても5日間は学校に来てはいけないということです。高熱が出た後は自分のからだも弱っているでしょうから最低5日間はゆっくり休んでください。（熱が下がらなければ5日以上長いことも…）

① たとえば、発症後2日目に解熱した場合



② たとえば、発症後4日目に解熱した場合



発熱した日を「発症日」、翌日から「1日目」と数えます。

*熱が出る前にくしゃみが出ていたとしてもそれは発症日ではなく、あくまでも熱が出た日が「発症日」となります。

必ずこの通りにはならない場合もあります。お医者さんの指示などで判断しましょう。